

プレス公表（運転保守状況）

2016年9月21日

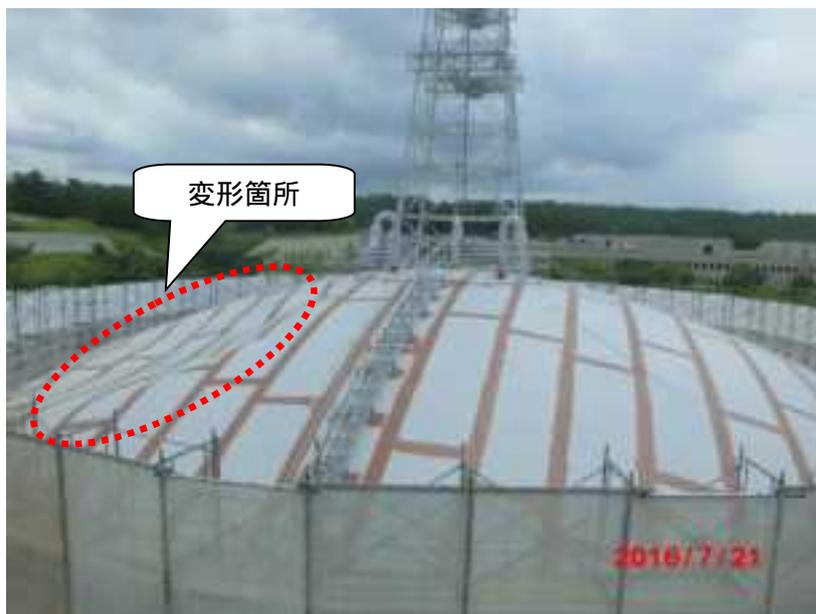
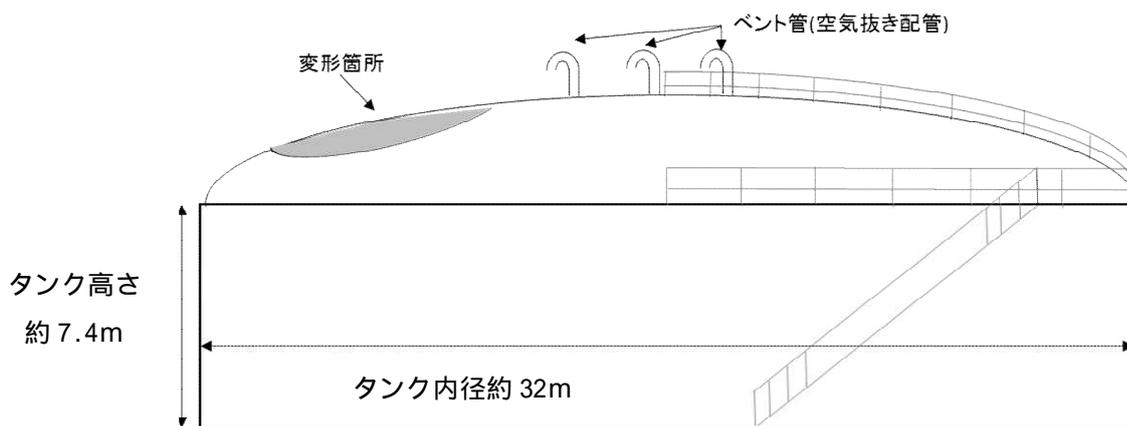
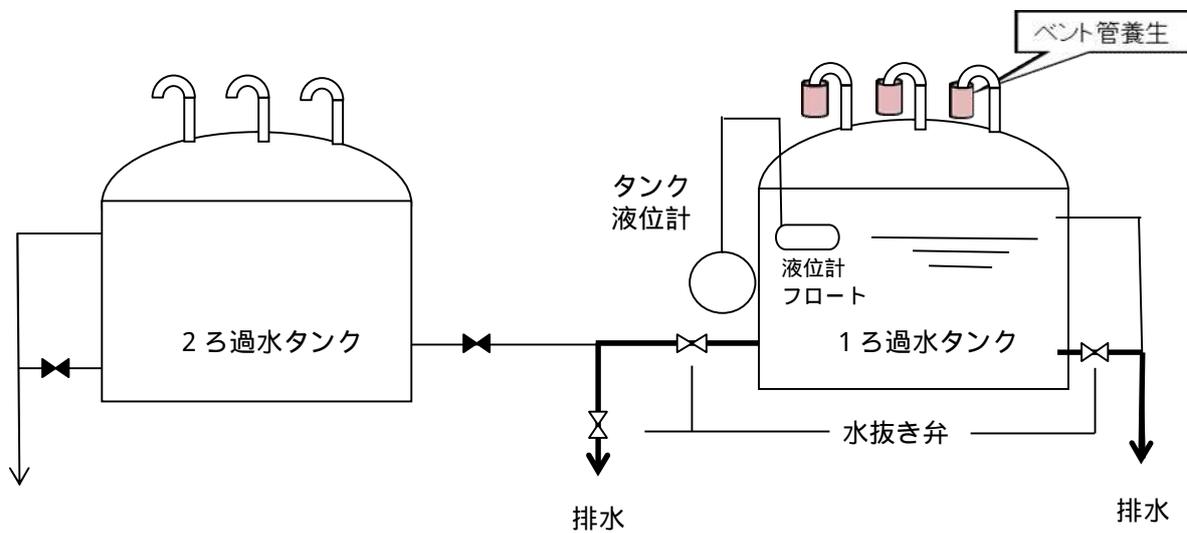
No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
	2016年 7月21日	-	荒浜側No.1ろ過水タンク天板の変形について (その他)	<p>【発生状況】 2016年7月21日午前10時50分頃、発電所構内に設置している、点検中の荒浜側No.1ろ過水タンク*の天板部が変形していることを付近にいた作業員が確認しました。 当該ろ過水タンクは、塗装工事および水位計関連の点検を実施しており、塗装工事に伴いベント管（空気抜き配管）を養生していました。その状態で水位計の点検のためにタンク内の水抜きを実施した結果、タンク内圧が低下し、天板が変形したものと推定しております。 本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>*ろ過水タンク プラントで使用する雑用水の水源タンク、および純水製造時の水源タンク。タンク内の水は、水道水を使用。</p> <p>【対応状況】 <u>推定原因</u> タンクの塗装工事に伴いベント管がシートで養生（スカート状）された状態で、水位計点検のためにタンク内の水抜きを実施した結果、排水に伴いベント管からタンク内に空気が流入し、その影響により養生シートがベント管のノズルに張り付いて閉塞しました。さらに排水が継続したことで、タンクの内圧が低下し、天板が変形したものと推定しました。</p> <p>また、調査の結果、以下のことが分かりました。 ・タンク塗装関係者は、水位の変動がないことを前提にベント管を養生しましたが、水位の変動が生じないような安全処置（タンク出入口弁、水抜き弁の操作禁止）を実施していませんでした。 ・計器点検関係者および機器・系統の運転操作を行う運転員は、同点検に伴う水抜き作業についてベント管が開放された状態で行うことを前提としていましたが、ベント管の養生の情報が十分に共有されていませんでした。</p> <p><u>再発防止対策</u> ・機器・設備が通常と異なる状態で保管・維持される場合には、運転員にその状況が伝わるように作業計画書の書面で通知し、各関係者間における情報共有を徹底します。 ・今回のようにベント管を養生することでタンク内の圧力変動を生じさせないようにする必要がある場合については、タンク出入口弁や水抜き弁等の操作を禁止する安全処置を確実に実行します。 ・塗装作業等でベント管の養生が必要な場合、ベント管を閉塞させない通気性のある防塵用フィルターを設置することとし、作業期間中は詰まりのないことを確認します。</p> <p>なお、当該タンクについては、今後、計画的に補修を行います。</p>

プレス公表（運転保守状況）

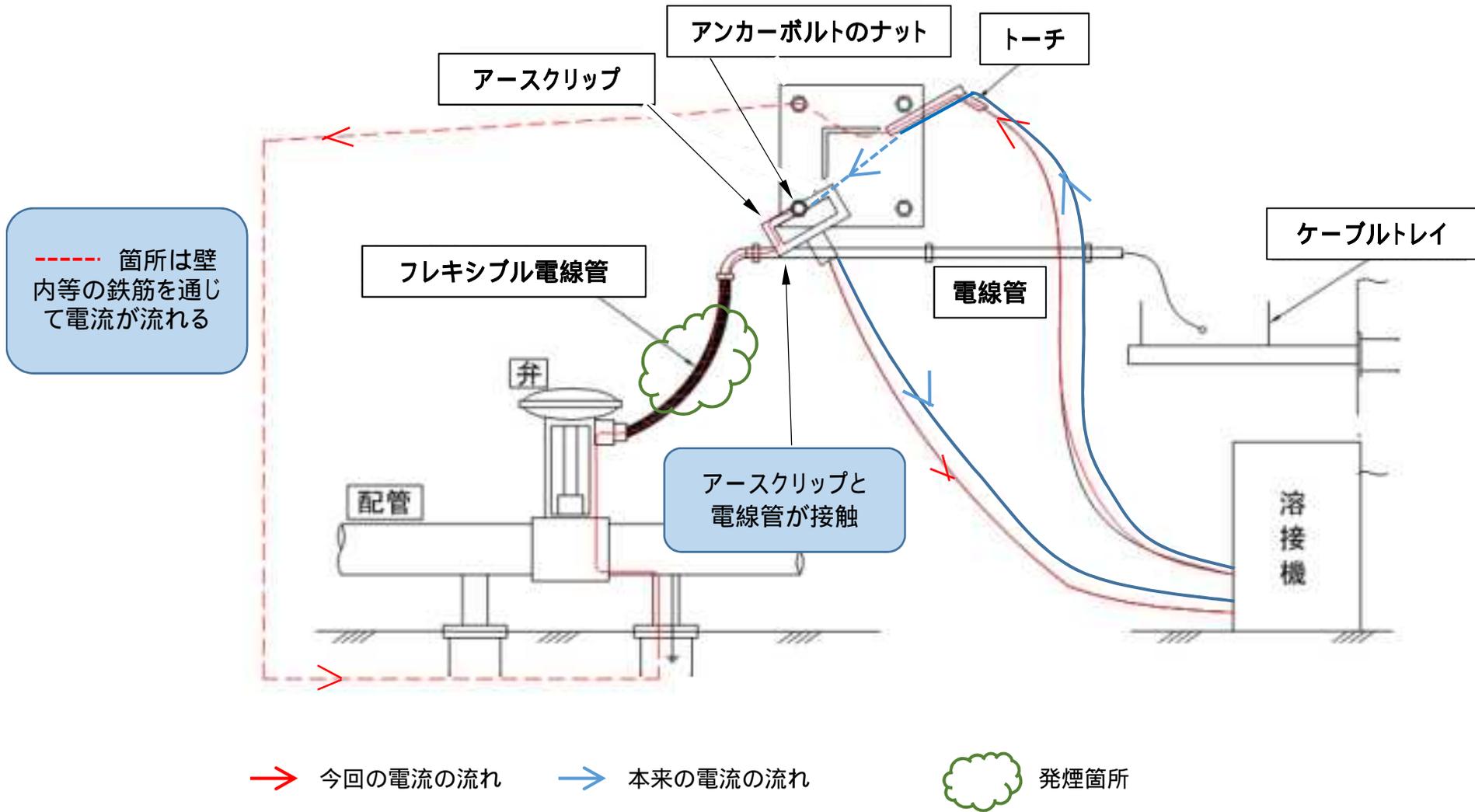
2016年9月21日

No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
	2016年 8月30日	7号機	柏崎刈羽原子力発電所での発煙の発生 について（区分：その他）	<p>【発生状況】 2016年8月30日、午後3時頃、7号機原子炉建屋中3階（非管理区域）において、固定式消火設備の設置工事の配管サポート溶接を実施していたところ、近接する空調冷却水系温度調節弁のフレキシブル電線管の表面被覆から発煙したことから、当該作業員が水をかけ、発煙が収まったことを確認しました。 その後、公設消防による現場確認の結果、火災ではないと判断されました。</p> <p>なお、本事象に伴う外部への放射能の影響はありません。</p> <p>【対応状況】 <u>推定原因</u> 溶接時にアースクリップを取り付けたアンカーボルトのナット部は塗装されており、電流が流れない状態となっていました。その後アースクリップが下方方向にずれ、下部に敷設されていた弁の電線管に接触した状態で溶接を実施したため、当該電線管に電流が流れ、これに繋がるフレキシブル電線管が発熱して、電線管の表面被覆から発煙に至ったものと推定しました。</p> <p><u>対策</u> ・アースクリップの取付は、溶接母材及びアースクリップ取付治具等を使用し、強固にアースクリップを取り付けるものとします。なお、アースクリップ取付治具取り付け面の塗料を除去し、母材表面を出して治具を取り付けることとします。 ・アースクリップの取り付けを行う場合、何らかの要因で位置がずれても他の設備と接触しない位置に取り付けを行います。但し、周辺機器の状況により他の設備と接触しない位置に取り付けを行うことが困難な場合は、当社工事監理員と相談し周辺機器に電流が流れない様、対策を検討し実施します。</p> <p><u>水平展開</u> ・本事例について推定原因ならびに対策を協力企業に周知します。</p>

荒浜側 1ろ過水タンク天板の変形について



電流の流れ(推定)



アースクリップ取付状態(再現イメージ)



アースクリップ取付状態イメージ(対策)

